

一般質問事項一覧

6月17日（月）

質問者	質問方式	質問概要
廣瀬（新風会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 新しいイベントに対する市からの支援について</p> <p>○ 市主催のイベントを市民が企画した場合、市から県内外に向けての広報活動や情報発信などの支援をしてもらえるのか。</p>
		<p>2 奥越ふれあい公園の活用について</p> <p>○ 公園内の池にかなり長い間水を出していないが、今後池に水を入れることはできないのか。</p> <p>○ 公園でイベントがあった時、駐車場からの出口として現在は東側しか開放していない。西側に抜ける道もあると思うが、開放できないのか。</p>
		<p>3 災害時などの救急体制、避難体制について</p> <p>○ 消防本部における救急体制については、本部の救急車3台と和泉分遣所の救急車1台の計4台が出動することが珍しくないとのこと。中部縦貫自動車道の全線開通や少子高齢化の進行に伴う急病人等の増加も見据え、救急車両の配備や職員の配置について、今後どのように進めていくのか。</p> <p>○ 6月4日に福井県が洪水浸水想定地域を指定した。大野市では今年度総合防災マップを作製することになっているが、作製に当たり、県の指定をどのように反映していくのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
廣田（清風会）	一問一答方式	<p>1 大野市の農業振興について</p> <hr/> <p>大野市に限らず、農業農村の維持には課題が多いが、大野市における現状と対策について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生産者及び担い手の推移について ○ 農地及び関連施設の状況について ○ 生産量と販売高の推移について ○ 今後、農業振興策として重点的に取り組まなければならない課題と対策はどのようなものか
		<p>2 学校教育環境検討事業について</p> <hr/> <p>学校教育環境検討事業について、5月12日に開催された「結の故郷教育シンポジウム」と現在随時開催中である「教育環境に関する意見交換会」や児童・生徒へのアンケートについて聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 結の故郷教育シンポジウムの概要及びアンケート結果について ○ 教育環境に関する意見交換会の概要について聞きたい。 <ul style="list-style-type: none"> 1 説明された教育設備の現状について 2 市の教育方針について 3 参加者が少ないようだが対応について ○ 児童・生徒へのアンケート実施状況と内容について

質問者	質問方式	質問概要
林 (新風会・公明党)	一括質問・答弁方式	<p>1 地域を支える力と行政の協働について</p> <p>○ 本市には地域を支える力があり、まちの将来を考え行動する人がたくさんいる。住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を送ることや災害発生時に助け合って命を守る行動など、行政は地域の力なくして運営していけない。持続可能な開発目標（SDGs）を自治体として推進していく中で、それを支える社会の力は重要である。人と人、地域と地域のつながりを大切に、大野市全体を行政が統括しながらこの長を生かして協働していくことで、地域の価値が高まり、まち全体の魅力向上につながることから、質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能な地域づくりを实践するチームの組織化、育成に向けた行政のサポート体制の現状と今後の方針はどうか。 2 地域を支える人材の確保に向けた取り組み状況はどうか。 3 地域を支える地元企業・事業所の存在は欠かせないと思うが、人手不足や消費税増税等厳しさを増している中、課題を共有したり、解決策を協議したりする場はあるのか。併せて、第三セクターが地元企業・事業所に与える影響をどう認識しているのか。
		<p>2 簡素で効率的な行政運営について</p> <p>○ 昨年7月に総務省の研究会が発表した「自治体戦略2040構想」、本年5月に財務省の審議会が発表した「地方財政対策の課題」、同月に可決・成立した行政手続きを電子申請に原則統一するデジタルファースト法などを見ても分かる通り、今後の地方自治体を取り巻く環境は大きく変わる。本年4月にスタートした福井市との連携協約に基づく取り組みも、観光や販路拡大など、相互の連携強化につながるものはもちろんのこと、今後、両市の不足する部分を補い合うといった大胆な仕組みが求められていくと思う。</p> <p>本年度当初予算において補助金等の見直しが行われた。時代の変化に合わせて見直しは必要だが、行政の目指す方向性が不明確であり、施策の費用対効果などの丁寧な説明がなかったこと等により、市民の中で不満の声が上がっている。今後そのようなことがないよう、危機感を持った対応をお願いしつつ、これからの行政運営の方向性について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の業務別職員数と今後の採用見込みはどうか。併せて、職員の育成方針や行政運営はどのように行っていくのか。 2 道路や水道など生活を支えるインフラ整備・維持は将来的な更新を含めて備える必要があることから、公共施設等総合管理計画で示した公共施設のより一層の削減、収益確保の取り組みが必要だと思うが、公共施設の可能性を探る企画提案（サウンディング調査など）を行う予定はないか。併せて、インフラの更新に備え、基金を設置する予定はないか。

質問者	質問方式	質問概要
松本（新風会・公明党）	一問一答方式	<p>1 学校再編について</p> <p>○ 5月12日に開催された結の故郷教育シンポジウムについて伺う。 シンポジウムで実施した将来の教育環境に関するアンケート（速報結果）が大野市のホームページで公開されている。 シンポジウムの参加者は約150人と推定できる。 そのうちアンケート回答数が138人であることから、シンポジウムに参加したほぼ全員の方がアンケートに回答したと言える。 そうしたことを前提として、以下のことを質問する。</p> <p>1 アンケートによると、回答者の年代で10代の方が0名、20代の方が2名、30代の方が9名となっている。 この結果に対して、どのような所見を持っているか。</p> <p>2 アンケートによると、学校再編について不安なことを持っている方が89名となっている。 この結果に対して、どのような所見を持っているか。</p>
		<p>2 児童生徒の安全確保について</p> <p>○ 本年5月4日に大津市県道にて保育園児らが死傷する交通事故が発生した。 5月28日には事故に遭った保育園の系列のこども園職員や警察、大津市の職員らが散歩コースを歩き交通量や道路状況を確認した。 また、5月28日から7月にかけて153の保育園などの散歩コースで危険がある場合はコースを変更したり、防護柵の設置など対策を実施する予定である。 さらに、5月28日には川崎殺傷事件が発生した。 この事件は、保護者を含み小学生が死傷している。 事件を受けて安倍首相も5月29日に小中学生の登下校時の安全確保について、国・自治体で連携して早急な対策を取るよう指示している。 これを受けて5月29日以降、各地で登下校の見守りが強化されているところである。 そこで伺う。</p> <p>1 これらの事件を受けて大野市の保育園において、どのように散歩コースの安全点検を実施したのか。</p> <p>2 散歩コースの安全点検をした結果、改善を必要とする箇所はあったのか。あったとすれば、どのように改善したのか。あるいは、改善していく予定か。</p> <p>3 平時においては、どのように散歩コースの安全確認を実施しているのか。</p> <p>4 これらの事件を受けて、大野市の小中学生の通学路においてどのように安全点検を実施したのか。</p> <p>5 通学路の安全点検をした結果、改善を必要とする箇所はあったのか。あったとすれば、どのように改善したのか。あるいは、改善していく予定か。</p> <p>6 平時においては、どのように通学路の安全確認を実施しているのか。</p>

		<p>3 無電柱化の推進について</p> <p>○ 平成28年に無電柱化の推進に関する法律（平成28年法律第112号）が公布、施行されている。</p> <p>この法律は、災害の防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化又は、電線の道路上における設置を抑制し、及び道路上の電柱又は、電線の撤去の推進に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにし、並びに無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、もって公共の福祉の確保並びに国民生活の向上及び国民経済の健全な発展に資することを目的としている。</p> <p>第4条に、地方公共団体は無電柱化の推進に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の地域の状況に応じた施策を総合的、計画的かつ迅速に策定し、及び実施する責務を有するとある。</p> <p>そこで伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 本市では、この第4条に関連してどのような対応を取ってきたか。2 先進事例として、つくば市の無電柱化条例がある。 本市でもこれに準じた条例を制定する考えはないか。3 11月10日は国が定めた無電柱化の日である。 市民に無電柱化の重要性についての理解と関心を深めていただくために、趣旨にふさわしい行事を実施してはどうかと考える。 実施してはどうか。
--	--	---

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 (日本共産党大野市議団)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 消費税増税を見込む政策の予算措置について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「プレミアム付商品券」について ○ 「幼児教育・保育の無償化」についてなどは、消費税増税計画の一環で自治体に予算措置をさせる政策で自治体に消費税増税の納得を強引にさせる手法にあるところに問題があるのではないか。 ○ 消費税問題とともに税の問題では、森林環境税についても質問する。 森林環境税は、地方にとって大変重要な財源となるが、あくまでも国税である。しかし、徴収は地方が行い、国による配分となる。徴収を行う地方は、下請け機関になるのではないか。 <p>2 令和元年度当初予算における主な廃止・終了等事業について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小型除雪機維持管理費補助事業 この事業は何年から始め、その事業が不必要になった理由とその後のフォローについて ○ 市史編さん事業について、提案理由の中で市長も述べているように大野市文化財保存活用地域計画に生かす工夫が必要でないか。 ○ 指定難病等特別見舞金支給事業は、残すべき大野市独自の事業で、しかも唯一の市民福祉の政策ではないか。この見舞金制度が形成されたその背景と、何時からできた制度なのか等をしん酌されたか、その上で削減が必要との結論か聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
木戸屋（未来おおの）	一問一答方式	<p>1 学校再編計画の見直しについて</p> <p>○ 5月12日に大野市教育委員会主催で教育シンポジウムが開催された。また、5月28日から開成中学校を皮切りに、保護者限定で意見交換会が行われている。これらの企画を通して、学校教育環境に対する意見を市民から広く集めようとする目的があると理解している。また、この他に小中学生へのアンケートの実施も予定されている。そこで、次の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育シンポジウムの結果概要と、この取り組みについての当局の考察や評価はどのように考えているのか。 2 これまで実施された各学校の保護者対象の意見交換会の参加人数や出された意見の概要と、これまでの取り組みについての考察や評価はどのように考えているのか。 3 令和元年度にまとめをしてから、令和2年度以降について、学校再編計画見直しの取り組みやスケジュールはどのような予定なのか。
		<p>2 民俗資料館の活用について</p> <p>○ 柳神社敷地内にある民俗資料館を旧裁判所（解体後）の敷地に移築することを進めている計画がある。</p> <p>本市の貴重な文化財を守り、それを観光等に活用することは重要なことだと考えている。しかし、重要なことであっても、一つ一つの計画は、限られた財政の中で、有効かつ効率的に、そして市全体の財政状況を考えて総合的な視野でバランスを取って実施していかななくてはならない。そこで、次の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この移築計画が進められてきたこれまでの経緯を伺う。 2 民俗資料館の移築は、どのようなメリットがあるのか。 3 移築費用はどのくらいを見込んでいるのか。

一般質問事項一覧

6月18日(火)

質問者	質問方式	質問概要
ダニエル(無党派)	一問一答方式	<p>1 石山市長就任1年。市政にどのような新しい風が吹いているか</p> <p>○ 石山市長就任からちょうど1年になるが、市長就任後福井新聞からインタビューを受けられた際に、「新しい風を吹き込む」とお答えになっていた(福井新聞2018年6月19日付)。この1年で、市政にどのような新しい風が吹いているのか、市長の説明を伺いたい。</p> <p>2 大野市の教育環境の改善について</p> <p>○ 教員の「働き方改革」が叫ばれている昨今、教員の長時間労働がさまざまなところで弊害を生んでいるとニュース等で報道されている。子どもたちの教育のためにも、教員の労働環境を改善していく必要があると思うが、市長の考えを伺いたい。</p> <p>○ 教員の部活動が長時間労働の主要な原因の一つとなっているようだが、大野市は今後どのような対策を立てていく予定か。</p> <p>○ 現在の大野市の学校では、小学校も中学校もさまざまなイベントがあり、夏休みそのものが形骸化しているように感じられるが、市長はそれについてどう思うか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
永田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの取り組みについて</p> <p>○ 昨年410回12月定例会において、一般質問させていただいた、ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンについて、圏域7市4町で構成され、圏域の拠点性を高め、圏域全体の発展を見据えるとあるが、現在の取り組み状況について伺う。</p> <p>○ 同じく、大野市地域公共交通網形成計画についても質問した経緯があるが、このたび、新たに策定された内容は、高校生のアンケートも考慮されているものと思われる。一方、高齢化に伴う運転免許自主返納者が激増している中であって、福井市を中心とした総合病院等に通う場合は、バスの便数が昨年から減少したことからJRとの乗り換えも不便な状況となっている。このような市域を超える場合は、連携中枢都市圏で解決できないか、所見を伺う。</p>
		<p>2 大野市の災害対応について</p> <p>○ 災害大国日本と言われているが、地震、豪雨、台風等特に平成は、大規模な自然災害が多発し、多くの尊い人命が失われた。令和は平穏であるよう願うばかりである。国においては、昨年の広島県で甚大な被害のあった7月豪雨を契機として、本年3月に住民の避難行動の対応を明確にするため警戒レベルを5段階に分け、避難勧告等に関するガイドラインの改定が行われた。そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井県における大野市の浸水想定区域の変更等、今後の想定内容について伺う。 2 大野市地域防災計画等の見直しや防災会議等で調整されていたと思うが、その対応マニュアルや伝達について伺う。 3 高齢化の進展や線状降水帯、爆弾低気圧等災害の態様も変化しており、避難所の開設場所についても見直すべきではないか、伺う。

質問者	質問方式	質問概要
伊東（新風会・公明党）	一問一答方式	<p>1 放課後児童対策について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近年、保護者の働き方の変化に伴い、児童センターや放課後子ども教室に通う子どもが増えてきている。この現状を踏まえて、大野市は子どもたちを預かる受け皿としての施設や人数などさまざまな課題について、どのように認識しているのか。また、そのことに対応するために、施設や職員の拡充に取り組む姿勢はあるのか、考えを伺う。 ○ 各児童センターにおいて、長期休暇中の利用はどのくらい増加するのか。また、それに対して大野市はどのように対応しているのか伺う。 ○ 現在、各児童センターにおいて発達障害の子どもや障害が疑われる子どもの受け入れもされていると伺っているが、職員の加配など必要な支援はなされているのか。 <p>2 液体ミルクの備蓄・導入について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 液体ミルクを災害時の備蓄品として、避難所や保健センター、公立保育園等への導入の考えはあるか伺う。 ○ 今後、安心して利用してもらうために、乳児健診や保育園での防災訓練時に活用し、啓発活動を実施していく考えはないか。 ○ 家庭備蓄の周知とローリングストックについての見解を伺う。

質問者	質問方式	質問概要
白 崎 (新 風 会 ・ 公 明 党)	一 問 一 答 方 式	<p>1 過疎対策について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過疎対策について、現行の過疎地域自立促進特別措置法で示されている施策にはどのようなものがあるのか。 ○ その施策の中で、大野市で活用しているものにはどのようなものがあるのか。 ○ 今後、過疎対策に関する施策を活用する際にはどのような方針を持っているのか。
		<p>2 地域における企業支援について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市内の企業で、これまでに経営革新の承認を受けている企業数はどれくらいあるのか。大野市内の企業数と承認企業数は、福井県全体に対してそれぞれどれくらいの割合か。 ○ 大野市として、福井県全体の割合に関してどのように考えているか。 ○ 国が認定する経営革新等支援機関ではさまざまな支援が受けられるが、大野市にはどれくらいの認定支援機関があるのか。 ○ 認定支援機関と大野市とはどのような関わりを持っているのか。 ○ 大野市として独自の経営革新への支援をしていく予定はないのか。
		<p>3 農業施策の方向性について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業者の現状（年齢層や専業割合など）はどのようなになっているか。また、今年の雪の状況は農業にどのような影響が予想されるのか。 ○ 大野市が重点的に支援している作物は何か。どのような支援を行っているか。 ○ 環境に配慮した農業者への取り組みに対して支援していく方針は持っているか。

質問者	質問方式	質問概要
野村 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>○ 市民が主役の市政運営に対する市長の考え方は。</p> <p>1 各施設の取りやめや集約、事業の縮小や廃止について、市民への説明、周知についての現状は。</p> <p>2 今後、市民の声をどのようにくみ上げていくのか。</p> <p>2 市民に寄り添う市政とは</p> <p>○ 市民の賃金が低迷し、年金切り下げ、さらに消費税増税、このような中で、どのように市民に寄り添っていくのか。</p> <p>3 暮らし福祉の充実を</p> <p>○ 幼児教育無償化について（0歳から2歳への支援・保育士の待遇改善）</p> <p>○ 子どもの医療費完全無料化（500円の負担を無くす）</p> <p>○ 高校生までの医療費無料化</p> <p>○ 国民健康保険税の引き下げ（1世帯1万円・資産割・子どもの人数割）</p> <p>これらの実施に向けてどう考えているのか。</p>